

Ⅲ 特殊分類別（財別）鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

1 最終需要財

平成10年の県内最終需要財の生産指数は108.7で、対前年比8.7%減少した。一方、在庫指数は101.8で、対前年比8.5%増加した。

1-1 投資財

平成10年の県内投資財の生産指数は102.8で対前年比9.9%減少した。一方、在庫指数は98.9で対前年比10.4%増加した。

1-1-1 資本財

平成10年の県内資本財の生産指数は114.2で、対前年比10.0%減少した。四半期別にみると、1～3月期は116.6（対前期比6.7%減）、4～6月期は110.0（同5.6%減）、7～9月期は115.6（同5.0%増）、10～12月期は114.6（同0.8%減）となった。

一方、在庫指数の年平均は103.3で、対前年比7.1%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は113.1（対前期比49.6%増）、4～6月期は106.1（同6.2%減）、7～9月期は104.3（同1.7%減）、10～12月期は91.4（同12.3%減）となった。

1-1-2 建設財

平成10年の県内建設財の生産指数は86.4で、対前年比9.5%減少した。四半期別にみると、1～3月期は90.7（対前期比5.8%減）、4～6月期は84.6（同6.7%減）、7～9月期は83.4（同1.5%減）、10～12月期は85.2（同2.2%増）となった。

一方、在庫指数の年平均は92.6で、対前年比16.1%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は105.1（対前期比26.6%増）、4～6月期は91.8（同12.7%減）、7～9月期は89.4（同2.6%減）、10～12月期は86.0（同3.8%減）となった。

1-2 消費財

平成10年の県内消費財の生産指数は119.3で、対前年比6.8%減少した。一方、在庫指数は108.1で、対前年比5.0%増加した。

1-2-1 耐久消費財

平成10年の県内耐久消費財の生産指数は137.2で、対前年比9.4%減少した。四半期別にみると、1～3月期は138.2（対前期比7.7%減）、4～6月期は127.9（同7.5%減）、7～9月期は130.1（同1.7%増）、10～12月期は152.8（同17.4%増）となった。

一方、在庫指数の年平均は114.5で、対前年比5.1%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は151.9（対前期比72.4%増）、4～6月期は94.8（同37.6%減）、7～9月期は115.0（同21.3%増）、10～12月期は103.9（同9.7%減）となった。

1-2-2 非耐久消費財

平成10年の県内非耐久消費財の生産指数は100.8で、対前年比3.1%減少した。四半期別にみると、1～3月期は102.0（対前期比4.4%減）、4～6月期は100.5（同1.5%減）、7～9月期は101.8（同1.3%増）、10～12月期は99.0（同2.7%減）となった。

一方、在庫指数の年平均は100.0で、対前年比4.9%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は103.6（対前期比7.3%増）、4～6月期は101.5（同2.0%減）、7～9月期は102.1（同0.6%増）、10～12月期は93.3（同8.7%減）となった。

2 生産財

平成10年の県内生産財の生産指数は104.6で、対前年比7.7%減少した。一方、在庫指数は104.5で、対前年比3.8%増加した。

2-1 鉱工業用生産財

平成10年の県内鉱工業用生産財の生産指数は105.0で、対前年比7.6%減少した。四半期別にみると、1～3月期は103.2（対前期比13.6%減）、4～6月期は100.4（同2.7%減）、7～9月期は105.0（同4.5%増）、10～12月期は111.4（同6.1%増）となった。

一方、在庫指数の年平均は104.3で、対前年比3.9%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は107.3（対前期比4.9%増）、4～6月期は104.9（同2.2%減）、7～9月期は106.9（同1.8%増）、10～12月期は98.1（同8.2%減）となった。

2-2 その他用生産財

平成10年の県内その他用生産財の生産指数は91.2で、対前年比9.5%減少した。四半期別にみると、1～3月期は94.9（対前期比7.5%減）、4～6月期は90.6（同4.6%減）、7～9月期は91.0（同0.5%増）、10～12月期は88.8（同2.4%減）となった。

一方、在庫指数の年平均は122.4で、対前年比3.5%増加した。これを四半期別にみると、1～3月期は118.9（対前期比11.1%減）、4～6月期は124.0（同4.3%増）、7～9月期は125.8（同1.4%増）、10～12月期は121.3（同3.6%減）となった。



「季節調整」とは

指数には「原指数」と「季節調整済指数」の2種類がある事にお気づきでしょうか？

例年、ゴールデンウィークのある4、5月や、お盆休みのある8月は勤務日数が少ない為、生産活動が低下するといわれていますが、それは本当に生産が下がったと考えて良いのでしょうか？

鉱工業の生産は、季節的な要因や社会的慣習等により1年を周期として変動するので、前月との比較や四半期ごとの比較を行なう場合には、そのような季節要因をとり除く必要があります。